

週間情報

No. **0822**

発行：全国消防長会 企画部 企画課 東京都港区虎ノ門 2-9-16 TEL03-4500-6622 URL: <https://www.fcj.gr.jp/>

目次

※ 目次の項目をクリックすると、該当ページへ移動します。

消 防 本 部 の 動 き

▽行 事

- ◆ 新庁舎落成式を挙行
黒川地域行政事務組合消防本部（宮城）
- ◆ 「災害時におけるドローンを活用した消防活動支援に関する協定」の締結
坂出市消防本部（香川）

▽訓 練

- ◆ フォーラムエイト・ラリージャパン開催に伴う救助訓練を実施
豊田市消防本部（愛知）
- ◆ 解体予定建物を活用した災害対応訓練を実施
名張市消防本部（三重）
- ◆ 水難救助合同訓練を実施
小山市消防本部（栃木）
- ◆ 「令和8年度はしご車操法技術練成会」を実施
豊中市消防局（大阪）
- ◆ 消防相互応援協定に基づく消防隊連携活動訓練を実施
多野藤岡広域市町村圏振興整備組合消防本部（群馬）
- ◆ 危険物施設工場における消防活動訓練を実施
鯖江・丹生消防組合消防本部（福井）
- ◆ 警察機関と合同山岳救助訓練を実施
東山梨行政事務組合東山梨消防本部（山梨）
- ◆ 解体予定の共同住宅を活用した消防訓練を実施
春日部市消防本部（埼玉）

▽研 修

- ◆ 「契約・会計事務等研修会」を開催
埼玉西部消防局（埼玉）

▽その他

- ◆ 消防協力団体に感謝状を贈呈
宝塚市消防本部（兵庫）
- ◆ 救命処置動画の配信サービス「スプラッシュシェア」の運用を開始
鶴岡市消防本部（山形）
- ◆ 「第75回はたらく消防の写生会」を実施
東京消防庁（東京）
- ◆ 消火訓練装置「火消隊」を受贈
西胆振行政事務組合消防本部（北海道）
- ◆ 危険物保有施設において立入検査を実施
新潟市消防局（新潟）

[目次に戻る](#)

- ◆ 「弘前地区消防事務組合林野火災活動要領作成検討委員会」第1回会議を開催
弘前地区消防事務組合消防本部（青森）
- ◆ 予防広報活動を実施
松本広域消防局（長野）
- ◆ 文化財防火座談会を開催
奈良市消防局（奈良）
- ◆ 第54回和歌山県消防救助技術会を開催
和歌山県消防長会

国 等 の 動 き

▽消防庁通知等

- ◆ ロープ式エレベーターにおける戸開走行に伴う挟まれ事故を想定した救助活動対応に資する技術資料の周知について（依頼）
(事務連絡、令和8年5月26日)
- ◆ 梅雨期及び台風期における防災態勢の強化について
(中防消第5号、令和8年5月29日)
- ◆ 令和7年中の危険物施設に係る事故の概要について（通知）
(消防危第111号、令和8年5月29日)
- ◆ 消防職団員等の健康実態調査の結果及び災害現場活動等における石綿に対する安全対策等の徹底について（通知）
(消防消第182号、消防地第404号、令和8年6月1日)
- ◆ 患者等搬送事業者の調査結果について
(事務連絡、令和8年6月2日)

▽報道発表

- ◆ 非常勤消防団員等に係る損害補償の基準を定める政令の一部を改正する政令案に対する意見募集の結果の公示及び改正政令の公布
(令和8年5月27日、消防庁)
- ◆ 災害現場活動における最新技術実地検証の実施
(令和8年5月27日、消防庁)
- ◆ 「令和7年中の危険物施設に係る事故の概要」の公表
(令和8年5月29日、消防庁)
- ◆ 「令和8年度危険物安全週間」の実施及び消防庁長官賞の表彰
(令和8年5月29日、消防庁)
- ◆ 「令和7年中の石油コンビナート等特別防災区域の特定事業所における事故概要」の公表
(令和8年5月29日、消防庁)

▽情報提供

- ◆ 第17回消防トリアスロン大会2026の開催について
日本消防トリアスロンクラブ
- ◆ 令和8年度「防災啓発中央研修会」の受講者募集について
一般財団法人消防防災科学センター

「公式X」を開設!!

～あなたのもとへ直接、素早く情報をお届け～

フォローはこちら



X (旧 Twitter) 登録用二次元コード

[目次に戻る](#)

消防本部の動き

▽行 事

◆ 新庁舎落成式を挙

黒川地域行政事務組合消防本部（宮城）

黒川地域行政事務組合消防本部では、令和8年5月18日（月）、多くの来賓を迎えて、本部庁舎および黒川消防署の新庁舎落成式を挙

行しました。旧庁舎は建築されてから53年が経過し、老朽化も著しく、平成23年の東日本大震災での被災に加え、平成27年の関東・東北豪雨、令和元年の東日本台風により、2度にわたり甚大な庁舎浸水被害を受けました。

新庁舎は、浸水した従来の場所から約3キロ北西へ移転し、訓練施設や庁舎機能の充実を図るとともに、堅牢な造りで地域のシンボルとして災害時の存在感を示しています。

また、十分な格納スペースを確保し、防災拠点としての機能強化に加え、大規模災害時への対応力強化を図りました。

今後も、地域の安全を見守る「地域防災の核」として、職員のより一層の研さんに励むとともに、地域防災に努めてまいります。



【落成式の様子】



【新庁舎】

◆ 「災害時におけるドローンを活用した消防活動支援に関する協定」の締結

坂出市消防本部（香川）

坂出市消防本部では、令和8年5月25日（月）、有限会社鎌野鉄工所ドローン事業部（代表取締役・鎌野実氏）と「災害時におけるドローンを活用した消防活動支援に関する協定」を締結しました。

これは、水難事故や災害発生時に、同社が保有するドローンや操縦技術の無償提供などの支援を受けることで、迅速な状況把握や捜索活動を行うことを目的として締結したものです。

当日は、締結式後に当消防本部の潜水隊との合同訓練を行い、水中ドローンからリアルタイムで送信される映像を活用した要救助者の捜索訓練を実施し、隊員の安全確保や情報収集の有効性、潜水活動との連携方法について確認しました。

今後も、合同訓練を重ね、官民が連携した体制を強化し、地域の安全・安心を支える消防力の強化に努めてまいります。



【締結後の記念撮影】



【合同訓練の様子】

▽訓練

◆ フォーラムエイト・ラリージャパン開催に伴う救助訓練を実施

豊田市消防本部（愛知）

豊田市消防本部では、令和8年5月7日（木）から13日（水）までの7日間、足助消防署や旭・稲武・下山の各出張所において、フォーラムエイト・ラリージャパン（山道などの公道を舞台に走る自動車レース）開催に伴う救助訓練を実施しました。

この訓練は、競技中の車両事故を想定して、開催に伴う警備体制の強化および初動対応力の向上を図ることを目的として実施したものです。

当日は、油圧救助器具や可搬式ウインチによる車内救出に加え、車両火災時の延焼抑制や煙の拡散防止のために開催に向け導入したファイヤーブランケットの取り扱い訓練などを実施しました。

今後も、実災害を見据えた訓練を継続し、迅速かつ安全な救助体制の確立を図ってまいります。



【訓練の様子】

◆ 解体予定建物を活用した災害対応訓練を実施

名張市消防本部（三重）

名張市消防本部では、令和8年5月14日（木）、15日（金）の2日間、市内の解体予定建物を活用した災害対応訓練を実施しました。

この訓練は、実際に使用されていた防火戸や屋内のドアなどを破壊して開口部を設定するなど、より実践的な活動を通じて、災害対応能力の向上を図ることを目的として実施したものです。

当日は、木製や鉄製の扉をバール、ハリガンツールなどのハンドツールを使用して開放したほか、エンジンカッターを活用してデッドボルトなどを切断する訓練を行いました。

2日間で計33人の職員が参加し、扉の構造や破壊・開放の要領について理解を深めることができ、大変有意義な訓練となりました。

今後は、本訓練で得られた知見を災害活動に生かし、さらなる技術の向上に努めてまいります。



【訓練の様子】

◆ 水難救助合同訓練を実施

小山市消防本部（栃木）

小山市消防本部では、令和8年5月19日（火）、小山市内の思川において、茨城西南広域消防本部と水難救助合同訓練を実施しました。

この訓練は、両消防本部が連携して迅速な水難救助活動を展開し、災害対応力の向上を図ることを目的として実施したものです。

当日は、「野木町野渡地内から下流に人が流された」との想定で、応援協定に基づき、下流を管轄する同消防本部に応援要請を行い、連携した水難救助活動を実施しました。

訓練を視察した当消防本部の薄井署長は、「本訓練を機に、管轄区域が隣接する河川での活動の際には、より速やかな連携を期待する」と訓示を行いました。

今後は、さらに訓練を重ね、地域住民の安全安心の確保に努めてまいります。



【訓練の様子】



【訓練後の記念撮影】

◆ 「令和8年度はしご車操法技術練成会」を実施

豊中市消防局（大阪）

豊中市消防局では、令和8年5月18日（月）から20日（水）までの3日間、はしご車を共同運用している箕面市消防本部の訓練施設において、「令和8年度はしご車操法技術練成会」を実施しました。

この練成会は、はしご車の誘導や部署位置の選定、基本操作技術のほか、放水要領および要救助者救出要領の確認など、一連の活動における安全確実な操作技術の向上を図ることを目的に実施したものです。

今後も、安全・迅速な活動をモットーに、はしご隊のさらなるレベルアップを図ってまいります。



【練成会の様子】

◆ 消防相互応援協定に基づく消防隊連携活動訓練を実施

多野藤岡広域市町村圏振興整備組合消防本部（群馬）

多野藤岡広域市町村圏振興整備組合消防本部では、令和8年5月25日（月）、消防相互応援協定に基づき、県境をまたいで隣接する埼玉県の児玉郡市広域消防本部と合同で、消防隊連携活動訓練を実施しました。

この訓練は、互いに顔の見える関係を構築するとともに、中継送水訓練や車両積載資器材を確認するなど、児玉郡市広域消防本部との連携強化を図ることを目的として実施したものです。

当日は、これらの訓練を通じて互いの絆をさらに深めました。

今後も、地域の安全・安心につながるよう取り組んでまいります。



【訓練の様子】

◆ 危険物施設工場における消防活動訓練を実施

鯖江・丹生消防組合消防本部（福井）

鯖江・丹生消防組合消防本部では、令和8年5月25日（月）、管内の危険物施設工場において、令和8年度危険物安全週間を迎えるに当たり、消防活動訓練を実施しました。

この訓練は、危険物施設工場における有事の際、工場側と消防機関との活動方針の共有および連携強化、ならびに火災予防に対する意識の向上を図ることを目的として実施したものです。

当日は、同工場の従業員39人が参加し、初期消火訓練、119番通報訓練および避難訓練を行ったほか、当消防本部の消防隊による消火活動や、屋上に避難した従業員をはしご車で救出する訓練などを実施しました。

今後も、危険物施設工場における消防活動訓練を継続して行い、火災予防に努めてまいります。



【訓練の様子】

◆ 警察機関と合同山岳救助訓練を実施

東山梨行政事務組合東山梨消防本部（山梨）

東山梨行政事務組合東山梨消防本部では、令和8年5月25日（月）および26日（火）の2日間、山梨県警察本部日下部警察署と合同で山岳救助訓練を実施しました。

この訓練は、山岳救助現場における共通の認識と連携を深め、より迅速で安全確実な救助活動を行うことを目的として実施したものです。

当日は、当消防本部から29人、同警察署から16人が参加し、互いの救助資器材や救出方法の確認などを通じて、技術の向上を図りました。

今後も、このような訓練を通じて、警察や各種関係機関との連携をより一層深め、迅速的確な災害現場対応を目指してまいります。



【訓練の様子】

◆ 解体予定の共同住宅を活用した消防訓練を実施

春日部市消防本部（埼玉）

春日部市消防本部では、令和8年5月25日（月）から27日（水）までの3日間、大東建託株式会社との「消防訓練場所の確保に関する協定」締結後、初めてとなる消防訓練を実施しました。

期間中は、解体予定の建物を活用し、分署消防隊を主体とした少人数体制での初動対応能力の向上を図ることを目的として、2分署合同による火災救助訓練や救急支援訓練を行いました。

火災救助訓練では、最先着隊が手振りで救助を求める要救助者を確認した際の救出活動要領を確認したほか、各隊で意見交換を行い連携の強化を図りました。

また、救急支援訓練では搬出困難事案を想定し、狭い玄関や屋外階段の搬送時に傷病者を安静かつ安全に搬出するための訓練を実施しました。

最終日には、同社春日部支店が主催する地域の子供たちとのふれあいイベントが開催され、消防車両の展示や体験乗車、写真撮影などを行いました。

実際の災害現場に近い環境で実践的な訓練を行うことで、迅速かつ的確な判断力を養う貴重な機会となりました。

今後も、このような実践的な訓練を取り入れ、消防防災体制の充実と強化に努めてまいります。



【訓練の様子】



【イベントの様子】

▽研 修

◆ 「契約・会計事務等研修会」を開催

埼玉西部消防局（埼玉）

埼玉西部消防局では、令和8年5月14日（木）、「契約・会計事務等研修会」を開催しました。

この研修は、一部事務組合である当消防局が契約および会計事務を執行するに当たり、適正かつ恒常的に事務を進めていくため、担当者だけでなく全職員の資質向上を図ることを目的として実施したものです。

当日は、対面とオンラインを併用したハイブリッド形式で111人の職員が参加する中、契約会計課の職員が講師を務め、基礎的な内容について分かりやすく解説を行いました。

参加した職員からは、「普段理解しているつもりでも、改めて法令を確認し学び直す良い機会になった」との声が寄せられました。

今後も、公正、公平で透明性の高い契約、会計事務の推進に努めてまいります。



【研修会の様子】

▽その他

◆ 消防協力団体に感謝状を贈呈

宝塚市消防本部（兵庫）

宝塚市消防本部では、令和8年5月21日（木）、消防協力団体である宝塚大劇場に対して、消防長から感謝状を贈呈しました。

本事案は、同年4月8日（水）、劇場内において心肺停止状態となった女性に対し、周囲から見えないように同劇場職員が囲み、女性職員のみでAEDを用いた適切な心肺蘇生法を行い、女性は入院治療を経て社会復帰を果たしたものです。

消防協力者の救命への高い意識と傷病者への配慮ある行動により、尊い命が救われたことに対し、心から敬意と感謝の意を表します。



【感謝状贈呈の様子】



【感謝状贈呈後の記念撮影】

◆ 救命処置動画の配信サービス「スプラッシュシェア」の運用を開始

鶴岡市消防本部（山形）

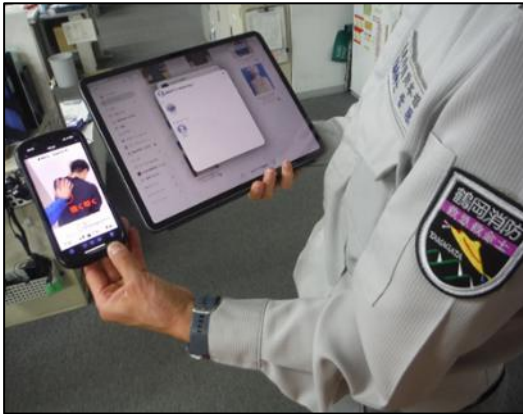
鶴岡市消防本部では、令和8年5月10日（日）、新たな啓発活動として救命処置動画の配信サービス「スプラッシュシェア」の運用を開始しました。

この動画は、救命講習を受講する機会がない方や、これまで関心が薄かった層へアプローチし、救命率の向上を図ることを目的として運用を開始したものです。

これは、119番通報時の口頭指導において「応急手当の仕方が分からない」という声が多い実情を踏まえ、平時から「映像通報119」で活用している動画を、市民のスマートフォンに配信・拡散できる環境を整えたものです。

実際に動画の提供を受けた市民からは、「いつでも見返すことができるのでありがたい」などの声が寄せられています。

今後も、時代に即した啓発活動と実効性のある取り組みにより、さらなる救命率の向上に努めてまいります。



【動画配信の様子】



【鶴岡市消防本部公式Instagram】

◆ 「第75回はたらく消防の写生会」を実施

東京消防庁（東京）

東京消防庁世田谷消防署では、令和8年4月15日（水）から同年5月13日（水）までの間、管内の小学校25校において、「第75回はたらく消防の写生会」を実施しました。

この写生会は、児童の消防に対する関心を高め、防火防災意識の向上を図ることを目的として実施しているものです。

当署の管内からは総勢3,006人の児童が参加し、車両や装備についての職員の説明に興味津々に耳を傾け、豊かな想像力を発揮して、消防職員やポンプ車、救急車を画用紙いっぱいに描いていました。

真剣な表情で一生懸命に描く姿が見られ、児童たちは「クレヨンで手がこんなにも汚れちゃった!」、「完成したよ!」とうれしそうに作品を見せてくれました。

当署では、将来の子どもたちの防災力や知識の向上につながる指導を引き続き行ってまいります。



【写生会の様子】

[目次に戻る](#)

◆ 消火訓練装置「火消隊」を受贈

西胆振行政事務組合消防本部（北海道）

西胆振行政事務組合消防本部では、令和8年5月15日（金）、伊達市内のホテルで開催された伊達市防火管理者連絡協議会創立60周年記念式典・祝賀会において、記念事業の一環として同協議会より、消火訓練装置「火消隊」の寄贈を受けました。

同装置は、適切に放水を行うことで炎が小さくなり、最終的に「消火完了」の文字が表示される仕組みとなっており、各事業所の消防訓練や指導などでの活用が期待されています。

今後は、各種行事や事業所の避難訓練時などに活用し、防火意識の向上につなげてまいります。



【受贈後の記念撮影】

◆ 危険物保有施設において立入検査を実施

新潟市消防局（新潟）

新潟市消防局では、令和8年5月26日（火）、令和8年度危険物安全週間を迎えるに当たり当消防局内における「危険物安全管理運動」の一環として、管内の危険物保有施設であるD r . D r i v eセルフ亀田駅前店の立入検査を実施しました。

これは、危険物を取り扱う事業所における自主保安体制の確立と事故や災害の未然防止を図るとともに、市民および事業所への保安意識の高揚と啓発を推進することを目的として実施したものです。

当日は、危険物取扱者による適正な監視状況を確認するとともに、利用客に対する適正な給油方法の普及啓発について指導を行いました。

また、報道機関の取材を受けたことから、本検査の取り組みが広く報道され、危険物の保安意識の高揚と啓発が一層推進されることが期待されます。



【指導の様子】

◆ 「弘前地区消防事務組合林野火災活動要領作成検討委員会」第1回会議を開催

弘前地区消防事務組合消防本部（青森）

弘前地区消防事務組合消防本部では、令和8年5月27日（水）、「弘前地区消防事務組合林野火災活動要領作成検討委員会」を設置し、第1回会議を開催しました。

この委員会は、全国で大規模な林野火災が相次いでいる状況を踏まえ、森林が管内面積の約6割を占める当消防本部において、地域の実情に即した林野火災活動要領の策定を進めることを目的として設置したものです。

今後は、管内消防団および関係機関をオブザーバーとして招へいし、連携体制に関する助言を受けながら検討を深めていく予定です。

今後も、消防活動体制の確立と運用基盤の充実強化、未来を見据えた人材育成、および地域防災力向上のため、消防団などと連携した地域防災体制の強化を図り、地域住民の安全・安心の確保に万全を期してまいります。



【会議の様子】

◆ 予防広報活動を実施

松本広域消防局（長野）

松本広域消防局では、令和8年5月27日（水）、本郷消防署において、予防広報活動を実施しました。

この活動は、参加した園児や高校生に対して防火防災への関心を高めてもらうとともに、熱中症予防の意識向上を図ることを目的として実施したもので、今回で3回目となります。

当日は、エクセラン高校の生徒が育てた花を松本市のぼら保育園の園児と一緒に花壇へ植栽したほか、熱中症予防を呼びかけるPR動画の撮影も初めて行いました。

参加した園児たちは、「楽しかった」、「むらさき色の花がきれいだった」と笑顔で感想を話していました。

今後も、当消防局では、地域に根差した身近な広報活動を展開してまいります。



【植栽の様子】



【広報活動後の記念撮影】

◆ 文化財防火座談会を開催

奈良市消防局（奈良）

奈良市消防局では、令和8年5月31日（日）、重要文化財である十輪院において、文化財防火座談会を開催しました。

これは、住宅地に隣接する文化財建造物の周辺住民を対象に、文化財の歴史や防火設備への理解を深めていただくことで、地域全体の火災による被害の軽減を図ることを目的として実施したものです。

当日は、同院の住職にご協力いただき、参加者が普段目にするの放放水銃などの防火設備を熱心に見学するなど、防火意識をより一層高めました。

地域の宝である文化財を後世へ継承するため、住民一人一人の備えの重要性を再認識する貴重な機会となりました。

今後も、地域と連携した防火活動を推進してまいります。



【座談会の様子】

◆ 第54回和歌山県消防救助技術会を開催

和歌山県消防長会

和歌山県消防長会では、令和8年5月31日（日）、和歌山県消防学校において、第54回和歌山県消防救助技術会を開催しました。

本大会から初の日曜日開催となり、一般来場者の大幅な増加が見込まれたことから、高所訓練が見やすい展望デッキや、訓練を間近で見学できる栈敷席を新たに設置し、県民の皆さまに職員の高度な救助技術を体感していただく環境を整えました。

当日は、同消防学校のオープンキャンパスも同時開催しており、訓練風景や施設を広く県民の皆さまに紹介して消防業務への理解を深めていただくとともに、将来の担い手となる人材の確保に向けたPRも行いました。

これらの新しい試みを通じて、県民の皆さまに消防の活動を身近に、分かりやすく伝えることができました。

今後、職員を志す若者が増えることを期待しています。



【栈敷席からの様子】



【展望デッキと同じ高さからの様子】

[目次に戻る](#)

国等の動き

▽消防庁通知等

◆ ロープ式エレベーターにおける戸開走行に伴う挟まれ事故を想定した救助活動対応に資する技術資料の周知について（依頼）

（事務連絡、令和8年5月26日）

消防庁国民保護・防災部参事官から関係都道府県消防防災主管課長あてに事務連絡が発出されましたので、お知らせします。

平素より、救助業務の推進につきまして格別の御高配を賜り、厚く御礼申し上げます。標記の件につきまして、別添のとおり国土交通省住宅局参事官（建築企画担当）付より協力依頼がありました。（別添省略）
—以下省略—

○ 全文は、消防庁ホームページ

（https://www.fdma.go.jp/laws/tutatsu/items/260526_sanzikan_01.pdf）に掲載されています。

【問い合わせ先】

消防庁国民保護・防災部参事官付
救助係 井上事務官、為田事務官
TEL：03-5253-7507 FAX：03-5253-7576
E-mail：fdma.kyuujo@soumu.go.jp

◆ 梅雨期及び台風期における防災態勢の強化について

（中防消第5号、令和8年5月29日）

中央防災会議会長から関係都道府県防災会議会長あてに通知が発出されましたので、お知らせします。

貴殿におかれては、日頃から各般の施策を通じて災害対策の推進に御尽力をいただいているところであり、感謝を申し上げます。

例年、梅雨期及び台風期においては、各地で局地的大雨や集中豪雨が観測され、河川の急な増水・氾濫、内水氾濫、がけ崩れ、土石流、地すべり、高潮、高波、竜巻等により、多数の人的被害及び住家被害が発生している。とりわけ近年は、平成30年7月豪雨、令和元年東日本台風、令和2年7月豪雨、令和3年7月1日からの大雨等、毎年のように大規模な風水害が発生しており、昨年も、8月5日からの低気圧と前線による大雨等により、全国各地で土砂災害や浸水被害が発生した。加えて、地震や豪雨により地盤が緩んでいる能登地域や林野火災があった地域では、土砂災害が発生しやすいと考えられるため、その点御留意いただきたい。このような頻発化・激甚化する災害の被害を踏まえ、防災態勢の強化に取り組んできたところであるが、梅雨期及び台風期を迎えるに当たり、人命の保護を第一義とし、下記の点に留意した防災態勢の一層の強化を図られるよう依頼する。

—以下省略—

○ 全文は、消防庁ホームページ

（https://www.fdma.go.jp/laws/tutatsu/items/260529_bousai_1.pdf）に掲載されています。

◆ 令和7年中の危険物施設に係る事故の概要について（通知）

（消防危第111号、令和8年5月29日）

消防庁危険物保安室長から各都道府県消防防災主管部長、各消防本部消防長、非常備町村消防防災主管部局長あてに通知が発出されましたので、お知らせします。

今般、令和7年中の危険物施設に係る事故の概要について、別紙1のとおり取りまとめたので通知します。

貴職におかれましては、「危険物等に係る事故防止対策の推進について」（令和8年3月30日付け消防危第55号。以下「55号通知」という。）別添1の「危険物等に係る事故防止対策の推進について」及び55号通知別添2の「令和8年度危険物等事故防止対策実施要領」を参考に、事故防止に係る取組を積極的に実施いただくようお願いします。

なお、危険物等事故防止対策情報連絡会に会員として参画する関係団体に対し、別紙2のとおり通知している旨申し添えます。（別紙および別添省略）

—以下省略—

○ 全文は、消防庁ホームページ

（<https://www.fdma.go.jp/laws/tutatsu/items/4f4ec3c487f34191bc4121c1c952ea129305e806.pdf>）に掲載されています。

消防庁危険物保安室 担当：羽田野、下田、笹壁 TEL：03-5253-7524（直通） E-mail：kikenbutsukiseijimu@ml.soumu.go.jp
--

◆ 消防職団員等の健康実態調査の結果及び災害現場活動等における石綿に対する安全対策等の徹底について（通知）

（消防消第182号、消防地第404号、令和8年6月1日）

消防庁消防・救急課長、消防庁国民保護・防災部地域防災室長から各都道府県消防防災主管部（局）長あてに通知が発出されましたので、お知らせします。

消防職団員等の健康実態調査の実施について（令和7年6月26日消防消第232号、消防地第539号）により調査を行った結果について、下記のとおり取りまとめたので通知します。

なお、災害現場活動時等における石綿（アスベスト）に対する安全対策については、平成17年7月27日付け消防消第162号等により示しているところですが、引き続きその徹底を図っていく必要があることから、貴職におかれましては、貴都道府県内の市町村（消防の事務を処理する一部事務組合及び広域連合を含む。）に対し、この旨周知されますようお願いいたします。

—以下省略—

○ 全文は、消防庁ホームページ

（https://www.fdma.go.jp/laws/tutatsu/items/20260601_soumu_01.pdf）に掲載されています。

【消防職員に関すること】 消防庁消防・救急課 職員第一係 漆田 最所 電話：03-5253-7522 E-Mail：shokuin@soumu.go.jp 【消防団員に関すること】 消防庁国民保護・防災部地域防災室 消防団係 齊藤 筒井 電話：03-5253-7561 E-Mail：syobodan@ml.soumu.go.jp
--

[目次に戻る](#)

◆ 患者等搬送事業者の調査結果について

(事務連絡、令和8年6月2日)

消防庁救急企画室から各都道府県消防防災主管部（局）あてに事務連絡が発出されましたので、お知らせします。

標記について、「患者等搬送事業者認定等に係る報告について」（令和8年3月6日付け消防庁救急企画室事務連絡）に基づき実施した調査の結果を別紙「患者等搬送事業者認定状況」とおり取りまとめましたので、お知らせいたします。（別紙省略）

—以下省略—

○ 全文は、消防庁ホームページ

(https://www.fdma.go.jp/laws/tutatsu/items/20260602_soumu_01.pdf) に掲載されています。

【お問合せ先】

消防庁救急企画室

担当：辻補佐・松田係長・黒岩事務官

TEL：03-5253-7529

mail：kyukyukikaku-kyukyurenkei@soumu.go.jp

▽報道発表

◆ 非常勤消防団員等に係る損害補償の基準を定める政令の一部を改正する政令案に対する意見募集の結果の公示及び改正政令の公布

(令和8年5月27日、消防庁)

消防庁では、非常勤消防団員等に係る損害補償の基準を定める政令の一部を改正する政令案の内容について、令和8年3月26日から同年4月24日までの間、国民の皆様から広く意見を募集したところ、意見の提出はありませんでした。

この意見募集の結果も踏まえ、本日、非常勤消防団員等に係る損害補償の基準を定める政令の一部を改正する政令を公布しましたのでお知らせします。

—以下省略—

○ 全文は、消防庁ホームページ

(<https://www.fdma.go.jp/pressrelease/houdou/items/9fd4ee9b12203ca892b5a0bb6ac80166694b94ae.pdf>) に掲載されています。

【連絡先】

消防庁国民保護・防災部地域防災室

和氣課長補佐、筒井事務官

TEL：03-5253-7561

E-mail：syobodan_atmark_ml.soumu.go.jp

※スパムメール対策のため、「@」を「_atmark_」と表示しております。送信の際には「@」に変更してください。

[目次に戻る](#)

◆ 災害現場活動における最新技術実地検証の実施

(令和8年5月27日、消防庁)

南海トラフ巨大地震や首都直下地震などの大規模地震を想定した災害対応力の強化、風水害等をはじめとする災害の激甚化・頻発化、社会経済活動など消防を取り巻く環境への対応を図っていくため、消防分野において新技術の研究開発・実用化や現場導入を推進していく必要があります。

このため消防庁では、令和7年度から関係省庁、研究機関、消防機関等と連携し、災害現場における最新技術の活用に関する検証を実施しています。

—以下省略—

○ 全文は、消防庁ホームページ

(<https://www.fdma.go.jp/pressrelease/houdou/items/92f6fbefe91f2d61667102e3a703009aba5cea00.pdf>) に掲載されています。

< 担当 >
消防庁技術戦略室
中嶋・関・佐々木・勝田
Tel : 03-5253-7541
Mail : gisei2_atmark_ml.soumu.go.jp
※スパムメール対策のため、「@」を
「_atmark_」と表示しております。
送信の際には、「@」に変更してください。

◆ 「令和7年中の危険物施設に係る事故の概要」の公表

(令和8年5月29日、消防庁)

令和7年中(1月～12月)の危険物施設に係る事故の発生状況について、とりまとめましたので、その概要を公表します。

—以下省略—

○ 全文は、消防庁ホームページ

(<https://www.fdma.go.jp/pressrelease/houdou/items/6892fd0780349878354d53925b8ff2a56fd00f5f.pdf>) に掲載されています。

連絡先 消防庁危険物保安室
羽田野、下田、笹壁
TEL 03-5253-7524 (直通)

◆ 「令和8年度危険物安全週間」の実施及び消防庁長官賞の表彰

(令和8年5月29日、消防庁)

令和8年6月7日(日)から6月13日(土)まで「令和8年度危険物安全週間」を実施し、消防庁長官賞の表彰を行います。

—以下省略—

○ 全文は、消防庁ホームページ

(<https://www.fdma.go.jp/pressrelease/houdou/items/39d5504ddc48ad5b9fb7762c383f40b265872522.pdf>) に掲載されています。

連絡先 消防庁危険物保安室
齋藤、盛
TEL 03-5253-7111 (代表)
03-5253-7524 (直通)

[目次に戻る](#)

◆ 「令和7年中の石油コンビナート等特別防災区域の特定事業所における事故概要」の公表

(令和8年5月29日、消防庁)

消防庁では、毎年、石油コンビナート等特別防災区域内の特定事業所における事故の概要を取りまとめています。今般、令和7年中の事故概要を取りまとめたので公表します。

—以下省略—

○ 全文は、消防庁ホームページ

(<https://www.fdma.go.jp/pressrelease/houdou/items/0218dc68d86794659e49e0adac7db25f56eca3b5.pdf>) に掲載されています。

(連絡先) 消防庁特殊災害室
担当 山田、和泉、浜谷
電話 03-5253-7528 (直通)

▽情報提供

◆ 第17回消防トライアスロン大会2026の開催について

日本消防トライアスロンクラブ

日本消防トライアスロンクラブ（JFTC）では、第17回消防トライアスロン大会を下記のとおり開催します。

関東を中心に全国から消防トライアスリートにご来場いただいております。

カテゴリー（距離）は3種類、初心者から上級者まで選択でき、1人が1種目実施するチームリレー、スイムのないデュアスロンタイプやキッズ部門も併設しています。

全国のトライアスロンを楽しむ消防職員・団員（OB可）の皆さま、大会でお会いし交流を深めましょう。

なお、当大会の参加申し込みはインターネットサイトからとなります。

「<http://teamkens.co.jp>」又は「大会名」で検索してください。

記

- 1 大会名
第17回消防トライアスロン大会2026
- 2 開催日
令和8年10月25日（日）
- 3 場所
埼玉県加須市・渡良瀬遊水地



【昨年のトライアスロン大会の様子】

【問合せ先】

日本消防トライアスロンクラブ会長
東京消防庁トライアスロン部会長 熊谷直之
Address : bambooboat23@gmail.com

◆ 令和8年度「防災啓発中央研修会」の受講者募集について

一般財団法人消防防災科学センター

一般財団法人消防防災科学センターでは、令和8年度「防災啓発中央研修会」の受講者を下記のとおり募集しております。多数のご参加をお待ちしております。

記

- 1 開催日時
令和8年7月7日（火）13時00分～16時00分
- 2 開催方式
オンライン開催（Zoomによる。Zoomアプリの登録は不要）
- 3 主催
一般財団法人消防防災科学センター（後援：総務省消防庁）
- 4 対象者
都道府県、市町村および消防本部などの職員、一般住民
- 5 受講者数
800人（定員）
- 6 受講料
無料
- 7 申込方法
受講を希望される方は、市町村防災研修ホームページ
(https://www.bousai-kensyu.com/chuo_oubo/) から事前にお申込みください。
お申込み直後には、登録時のメールアドレスに「申込完了」メールが届き、開催当日までに「研修視聴用URL」メールが届きます。
- 8 プログラム
 - (1) 13時10分～14時00分
「地方自治体の災害対応力の強化等について」
総務省消防庁 国民保護・防災部防災課 防災課長 天利 和紀
 - (2) 14時10分～15時00分
「津波から命を守るために避難訓練支援アプリ『逃げトレ』について」
京都大学防災研究所 副所長・教授 矢守 克也
 - (3) 15時10分～16時00分
「新たな防災気象情報の運用について」
気象予報士（元気象庁） 饒村 曜※ 都合により、講師・題名等が変更となる場合があります。

一般財団法人 消防防災科学センター	
中央研修会担当	内田光俊 鈴木亜木子
TEL	0422-24-7803
E-mail	m-uchida@isad.or.jp suzuki@isad.or.jp

消防本部の“今”を「週間情報」へ

～身近な出来事、旬な情報を週間情報で発信しませんか？～

週間情報では、各消防本部の身近な情報を掲載していますので情報をお寄せください。

【特徴】

・原則毎週刊行しており、速報性のある広報となっています。

【留意事項】

・配信日(原則火曜日)から前2週間以内のイベント、訓練等を中心に掲載しています。

・文章は、200～400文字程度、写真は、1～2枚。

・週間情報、消防ワイドの両方に投稿された場合、どちらか一方のみの掲載となります。

【問合せ】:「週間情報」担当・企画課 中西 TEL:03-4500-6622

原稿データは、【専用投稿フォーム】 <https://forms.office.com/r/GxWJXpdc03>
に投稿願います。



機関誌「ほのお」掲載記事募集中

全国の仲間にも共有したい取り組みとその情熱を「ほのお」へお寄せください

全国消防協会では、機関誌「ほのお」への掲載記事を募集しています。

・**トップ・セカンド記事** 完成原稿は不要 掲載希望内容の概要(企画案)を提出

・**消防ワイド** 写真中心の自由投稿 文章:Word100字程度/写真:JPEG1枚

【問合せ】:企画課・吉田 TEL 03-4500-6622

トップ・セカンド記事:kikakeikaku@fcj.gr.jp 消防ワイド:honoo@ffaj-shobo.or.jp

※添付 5MB 超は分割送信



消防デジタルイラスト募集中!!!

～あなたのイラストが全国の消防業務を支える力となります～

○ あなたのイラストが、全国の消防本部で、広報・啓発・訓練・教材作成など、消防業務の様々な場面で活用されます。

○ 全国消防長会ホームページの「令和版 消防デジタルイラスト集」に掲載されます。

○ ホームページ掲載時には、「〇〇消防本部〇〇作」と作者名を明記し、あなたの名前と作品が、全国で紹介されます。

詳細は、[全国消防長会ホームページ](#)を検索!!!



「消防行政相談事例集」を掲載中

○ これまでに蓄積された相談事案と顧問弁護士の知見を「消防行政相談事例集」として取りまとめ、全国消防長会の情報管理システムに掲載しています。

○ 行政相談でこれまでに対応した事例の中から、参考になるものを紹介しています。

○ 掲載している相談は、内容を整理・一般化した概要と、それに対する顧問弁護士の回答です。

○ 掲載する事例は、今後、随時追加していきます。

